

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 126 号 2017.6.10
□ ■ □ -----

関東地方も梅雨に入り、不安定な天候を心配して、つつい空を見上げる回数が増えてきました。本は湿気に弱く、濡れてしまうとヨレができてしまうことがあります。

急な雨の対処方法として、ビニール袋を一つ、カバンに忍ばせておくといいかもかもしれません。しかし、せつかく濡れずに済んだ本でも、ビニール袋から取り出すとき、袋に付いた水滴が本に染みこんでしまうことがあります。最後までご用心を。

より多くの方がその本を読むことができますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆蔵書点検等による休館のお知らせ

○市川市の図書館は、蔵書点検のため次の日程で休館させていただきます。休館期間中は大変ご不便をおかけいたしますが、皆様のご協力をお願いいたします。

◇行徳図書館 6月19日(月)～22日(木)

◇中央図書館・こどもとしゃかん 6月26日(月)～30日(金)

○自動車図書館、市民図書室、公民館図書室については、通常通り開館いたします。

○情報プラザは中央図書館の蔵書点検期間に合わせて6月30日(金)の予約資料貸出しを休止いたします。

○千葉商科大学附属図書館では、中央図書館の休館期間中、市立図書館の予約資料貸出しを休止いたします。

○信篤図書館、南行徳図書館、平田図書室、ウィズ(男女共同参画センター)情報資料室の蔵書点検は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

■ ■ こどもとしゃかんからのお知らせ □ -----

◆岡田淳「こそあどの森の物語」展・ワークショップを開催します。

○日時：6月10日（土）午後2時から

○会場：こどもとしょかん

○対象：4歳から小学生

○参加方法：事前申込不要。開始5分前までにこどもとしょかんに集まってください。

○現在、文学ミュージアムで開催中の岡田淳「“こそあどの森の物語”展～物語の世界へようこそ！～」にあわせて、こどもとしょかんでワークショップ「“こそあどの森の物語”を読みながら、住んでみたいお家を絵にしよう！」を開催します。

○こそあどの森の人たちは、ちょっとかわった家に住んでいます。あなたが住むとしたら、どんな家に住みたいですか？

○こどもとしょかんにお絵かきコーナーを作りました。みなさまのご参加をお待ちしております。

詳しい案内はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1224.html>

■ ■ 平田図書室からのお知らせ □ -----

◆平田図書室にてリサイクルブック市を開催します！

<日時>6月10日（土）～11日（日） 午前9時30分～午後4時

<場所>平田図書室 1階 出入口付近

<冊数>お一人様5点まで（絵本および児童書は1点まで）

○図書館で不要になった小説、実用書、絵本、雑誌を無料で提供いたします。なお、無くなり次第終了となりますので予めご了承ください。

■ ■ テーマ展示 □ -----

◆「青の世界：In to the BLUE」（中央図書館／6～7月）

青（Blue）から、どのようなイメージを思い浮かべますか？

どこまでも澄みわたったスカイブルーの青空、夏の強い陽射しに輝くオーシャンブルーの海……etc. 自然界の美しい青からは、晴れ晴れとした開放感や、涼しげで心地よい爽快感が感じられます。

一方で、月曜日の朝に暗く憂鬱な気分が襲われるブルーマンデー、結婚を控えて幸せなはずの女性が不安に襲われるマリッジブルー……etc.

心や気分を表現する青からは、不安や悲しみ、憂いなどが漂ってきます。身近な色でありながら、二律背反のイメージを持つ神秘的な青（Blue）。そんな青（Blue）にまつわるタイトルや内容の小説をはじめ、広く青に関連した本を集めてみました。

青の世界をどうぞご堪能ください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1215.html>

○展示の本からいくつかをご紹介します。

◇『BLUE MOMENT』吉村和敏／著（小学館 2007）

よく晴れた日に、夕方の陽が沈んだ直後と朝の陽が上る寸前に数分だけ訪れる「空が藍色に染まる時間」ブルーモーメントをとらえた写真集です。世界中を旅してきた著者が撮影する世界は、まさに青の世界です。

◇『東山魁夷 青の風景』東山魁夷／著，東山すみ／監修（求龍堂 2006）

東山魁夷は、青を基調とした作品が多く、「青の画家」とも称されています。この本は、魁夷の青の世界をまとめた画文集で、緑に近い青、深い青……と、ページをめくるごとに、様々な青色で描かれた作品を見ることができます。

市川市にある東山魁夷記念館では、魁夷が実際に使用した青色の岩絵具を、ガラス瓶に入れて展示しています。少しずつ異なる青色が、緑から青へとグラデーションになっており、美しく印象的な空間です。

◇『花はふしぎ：なぜ自然界に青いバラは存在しないのか？』岩科司／著（講談社 ブルーボックス 2008）

開花するまでに最も長い時間を要する植物は、南米のパイナップル科の植物で、何と最長で 150 年かかるとか！また、「なぜ春には黄色い花が多いの？」「自然界に青いバラが存在しない理由」など、身近な花の疑問がわかりやすく書かれています。

なお、講談社が刊行するブルーボックスは、「科学をあなたのポケットに」というキャッチフレーズで 1963（昭和 38）年にはじまり、現在までに 2000 冊以上刊行されています。図書館の本は、フィルムコートで装備されているのでわかりませんが、表紙カバーを外すと、その叢書（シリーズ）名が示す通り本体は青色です。

.....
◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
